



横浜市立富岡小学校

# 学校だより 11月号



## 令和2年度 三色対抗運動会開催直前

副校長 藤田 敏明

秋風が心地よい季節となりました。

例年5月に行っていた本校「三色対抗運動会」は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を延期していましたが、来週6日(金)に開催のはこびとなりました。演技を減らし、開催時間を短くするなど、規模を縮小しての開催となりますが、子どもたちは、徒競走や各種目で、精一杯の力を出せるよう練習している様子が見られ、学校全体が盛り上がってきました。



特に6年生にとっては小学校最後の運動会。最後の

年を優勝で飾りたいと、張り切っています。そんな

6年生を代表して、各組の応援団長に運動会開催に向けての意気込みを聞いてみました。

赤組団長 松村 優月 さん(6-1)  
「応援団長に選ばれたからには、最後まで責任をもって団長をやり抜きたいです。運動会当日だけでなく練習でも、応援団のみんなをひっぱり、リードしていけるようにがんばります。そして、全校のみんなが、終わったときに『楽しかった』と思える運動会にしていきたいです。」

黄組団長 西川 典助 さん(6-2)

「応援団長として、大きな期待を背負っていると日々感じています。当日は全学年の黄組をしっかりまとめていきたいです。コロナ禍のため、いろいろな制約がある中での運動会だけど、今までの運動会とかわらない盛り上がりをつくりたいです。団長として、最後まで優勝をあきらめません！」

青組団長 吉野 里行 さん(6-3)

「団長として、だらだらとした応援にならないよう、自分にも、団員にも厳しい態度で取り組むことを心がけています。当日は、見ているみんなに「スゴいなあ」と思ってもらえるような応援ができるようにがんばります。そしてわたしたちの応援で、笑顔、歓声、感動の涙のある運動会にしていきたいです。」

最後に「一言もらえますか」と聞いたところ、ちょっと考えたあと、「どの組が勝っても、『いい運動会だったね』とみんなが思える運動会になるといいよね」という意見にみんなが頷いていました。とてもあたたかい心をもっている3人の団長の姿にふれ、今年の運動会が素晴らしい運動会になることを確信しました。

コロナ禍の開催のために、保護者の皆さんの観覧時にもいろいろな不自由をおかけしますが、安全な運動会実施のために、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。